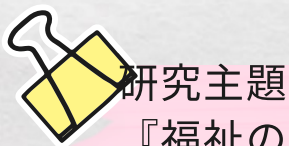


2023
01

第25回
九州地区福祉高等学校長会総会・研究協議会
並びに学科主任等研究協議会

2023年
6月8日(木)
6月9日(金)



研究主題

『福祉の魅力を発信～地域を支える福祉人材の育成向上をめざして～』



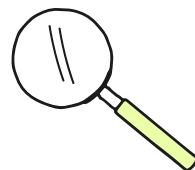
【1日目】

- (1) 開会行事 13:00～13:15
 - ①開会 九州地区福祉高等学校長会副会長
 - ②挨拶 九州地区福祉高等学校長会会長
 - ③祝辞 大分県教育委員会
- (2) 総会 13:20～14:20
 - ①令和5年度全国福祉高等学校長会 第1回理事会報告
 - ②令和4年度事業報告・決算並びに会計監査報告
 - ③令和5年度役員(案)・事業計画(案)・予算(案)
 - ④令和5年度以降の九州地区福祉高等学校長会事務局(案)
 - ⑤全国福祉高等学校長会九州ブロック役割分担(案)
 - ⑥九州地区高校生介護技術コンテスト兼全国高校生介護技術コンテスト九州地区代表選考会 実施規定について(案)
 - ⑦次年度開催権(長崎県) 主管校挨拶
- (3) 実践報告 14:30～15:40
大分南高校認知症キャラバン・メイト活動報告
報告者：竹中・判田地域包括支援センター
大分南高校3年認知症キャラバン・メイト
質疑応答
- (4) 校長会・学科主任等研究協議会 15:50～17:00
- (5) 教育懇談会 18:00～20:00



【2日目】

- (1) 講演 9:30～11:00
基調講演「高校福祉教育の現状と展望」
講師：文部科学省初等中等教育局 調査官 辻本 智加子 氏
質疑応答 11:10～11:40
- (2) 閉会行事 11:45～12:00





実践報告

大分南高校認知症キャラバン・メイト活動報告



大分南高校
認知症予防体操QRコード

竹中・判田地域包括支援センターの主任介護支援専門員 長野 有生様より、専門的な視点から高校生が地域で認知症キャラバン・メイトとして活動する意義を説明していただきました。

また、大分南高等学校の福祉科のキャラバン・メイトさんが先生役となって、小・中学生や地域住民対象に行っている認知症サポーター養成講座の一部を会場で実践していただきました。劇を通じて、認知症の方に対する声掛けの方法や認知症の予防体操を実践し、会場の先生方と一緒に学ぶことができました。この取り組みは、スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）の指定を受けた平成31年から歴代の先輩の指導のもと続いている活動であり、この5年間（H31～R5）で、15回開催され、1265名が講座を修了したそうです。



テーマ 地域をつなぐ 福祉（しあわせ）づくり
～大分南 認知症キャラバン・メイト活動報告
発表者 竹中・判田地域包括支援センター
主任介護支援専門員 長野 有生
大分県立大分南高等学校 福祉科 キャラバン・メイト



校長会・学科主任等研究協議会

共通の課題に向けてグループ協議



九州地区の先生方がグループになって、
①福祉の魅力や学科・コースのアピールをどのように実践し生徒募集に繋げていくか
②各校の福祉科の進路状況について
③福祉系高校における現状と今後の課題
の3つのテーマについて協議を行いました。

先生方が学校案内を持参し、福祉教育における共通の課題について、意見やアイデアを出し合うことで、新たな視座や視点を獲得することができたようです。

教育課程調査官からひとこと

研究協議会に参加させていただき、先生方の熱心に協議されている姿を拝見し、まさしく大会でおっしゃっていた『九州はひとつ』であると感じました。また、大分南高校の生徒さんの活動は「教えられる側」から「教える側」へ、「福祉科での学び」をいかして、地域の福祉的な課題に専門機関と協働して取り組んでいました。キャラバン・メイトとして運営することで、学年を越えて、経験や学びを後輩へ伝えることで内容もブラッシュアップされ、継続的な活動となっています。これからも、新たな発想力や創造力をいかして「高校生だからできる活動」を期待しております。